



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東  
コード番号 5970 URL <https://www.g-tekt.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高尾 直宏  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 事業管理本部長 (氏名) 馬場 猛 TEL 048-646-3400  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月2日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	167,395	1.3	5,356	△14.8	5,499	△31.3	3,899	△34.4
2024年3月期中間期	165,237	6.7	6,284	△12.7	8,003	△14.9	5,946	△14.3

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 830百万円 (△95.6%) 2024年3月期中間期 18,884百万円 (25.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	90.50	—
2024年3月期中間期	138.18	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	301,030	204,531	63.4
2024年3月期	304,129	205,393	63.0

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 190,893百万円 2024年3月期 191,667百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	32.00	—	35.00	67.00
2025年3月期	—	37.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	346,000	0.4	14,200	△12.6	14,400	△23.8	10,000	△24.5	232.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	43,931,260株	2024年3月期	43,931,260株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	831,588株	2024年3月期	852,363株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	43,085,156株	2024年3月期中間期	43,031,533株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料については、当社IR情報サイト(URL <https://www.g-tekt.jp/ir/index.html>)を併せてご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結損益計算書 .....	7
中間連結包括利益計算書 .....	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(会計方針の変更に関する注記) .....	10
(会計上の見積りの変更に関する注記) .....	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済については、高インフレの抑制を目的とした金融引締めが継続する中で底堅さを見せているものの、過去の水準と比して低い経済成長ペースを維持しており、引き続き予断を許さない状況です。

自動車業界におきましては、部品供給に関する懸念が解消したこともあり、完成車メーカーの安定した生産活動が継続しています。また、中国・欧州を中心としたEV化が進んでおり、特に中国市場においては、現地自動車メーカーの販売台数が増加していることに加え、生産台数の増大が周辺国の市場にも影響を与えています。一方で、ハイブリッド車等、EV以外の選択肢も見直される中、日系メーカーのEV開発が加速しつつあります。

このような環境において、当中間連結会計期間における業績は、中国セグメントをはじめとした減産の影響があったものの、日本・北米セグメントにおける増産に加え、金型・設備等の車種開発売上の増加、さらに為替影響等もあり、売上高は167,395百万円(前年同期比1.3%増)となりました。一方、営業利益は、インフレによる人件費高騰等により、5,356百万円(前年同期比14.8%減)となりました。経常利益は為替差損等により、5,499百万円(前年同期比31.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は、中国事業の一部整理に伴う割増退職金等の計上等により、3,899百万円(前年同期比34.4%減)と減益となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①日本

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	27,971	33,718	5,746	20.5%
営業利益	1,317	2,322	1,005	76.3%

前期との主な増減要因

売上高 生産台数増加及び金型・試作等の車種開発売上の増加により増収となりました。

営業利益 量産売上及び車種開発売上の増加により増益となりました。

## ②北米

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	57,173	62,964	5,791	10.1%
営業利益	1,132	1,267	135	12.0%

前期との主な増減要因

売上高 金型・設備等の車種開発売上の減少があったものの、生産台数増加及び為替影響により増収となりました。

営業利益 量産売上の増加により増益となりました。

## ③欧州

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	17,743	18,422	679	3.8%
営業利益	1,634	1,097	△537	△32.9%

前期との主な増減要因

売上高 生産台数の減少があったものの、金型・試作等の車種開発売上の増加及び為替影響により増収となりました。

営業利益 量産売上減少に加え、新機種対応及び労務費等増加もあり、減益となりました。

## ④アジア

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	23,266	19,679	△3,587	△15.4%
営業利益	1,124	539	△585	△52.0%

前期との主な増減要因

売上高 生産台数の減少及び金型・設備等の車種開発売上の減少により減収となりました。

営業利益 量産売上及び車種開発売上の減少により減益となりました。

## ⑤中国

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	35,146	28,031	△7,114	△20.2%
営業利益又は損失(△)	186	△372	△559	—

前期との主な増減要因

売上高 生産台数の激減により減収となりました。

営業損失 生産台数減少による労務費の抑制や諸経費の削減があったものの、減収による影響が大きく、営業損失となりました。

## ⑥南米

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	8,818	8,550	△268	△3.0%
営業利益	828	406	△422	△51.0%

前期との主な増減要因

売上高 生産台数が増加したものの、材料単価の下落及び為替影響により減収となりました。

営業利益 増産効果があったものの、ロイヤリティ負担の増加に加え、労務費の上昇もあり、減益となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

## ①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より3,099百万円減少し、301,030百万円となりました。これは主に、建設仮勘定及び仕掛品が増加した一方、機械装置及び運搬具(純額)、現金及び預金、建物及び構築物(純額)、受取手形及び売掛金並びに投資有価証券の減少によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より2,236百万円減少し、96,498百万円となりました。これは主に、短期借入金及び未払金の減少によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より862百万円減少し、204,531百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加した一方、為替換算調整勘定及びその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、9,812百万円減少し、23,033百万円となりました。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動のキャッシュ・フローは、10,632百万円の収入となりました。主な収入は、税金等調整前中間純利益4,941百万円、減価償却費9,782百万円です。

前年同中間連結会計期間に対して7,254百万円の収入の減少となりました。主な要因は、売上債権の減少額の減少、棚卸資産の増加額の増加によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動のキャッシュ・フローは、17,839百万円の支出となりました。主な支出は、定期預金の純増6,005百万円、有形固定資産の取得11,600百万円です。

前年同中間連結会計期間に対して174百万円の支出の増加となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出の増加です。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動のキャッシュ・フローは、2,846百万円の支出となりました。主な支出は、短期借入金の純減2,410百万円、長期借入金の返済5,254百万円です。

前年同中間連結会計期間に対して7,420百万円の支出の減少となりました。主な要因は、長短借入れによる収入の増加です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、2024年5月10日発表の予想値から変更していません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,575	41,684
受取手形及び売掛金	47,195	45,690
製品	2,161	2,167
仕掛品	25,302	29,106
原材料	4,957	4,312
貯蔵品	1,667	1,920
その他	7,043	7,921
流動資産合計	132,903	132,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	117,066	115,022
減価償却累計額	△52,551	△52,864
建物及び構築物(純額)	64,515	62,157
機械装置及び運搬具	201,025	197,306
減価償却累計額	△159,007	△158,401
機械装置及び運搬具(純額)	42,018	38,904
工具、器具及び備品	155,492	155,148
減価償却累計額	△142,352	△143,013
工具、器具及び備品(純額)	13,139	12,134
土地	16,421	16,310
建設仮勘定	19,857	24,344
有形固定資産合計	155,952	153,852
無形固定資産	1,233	1,229
投資その他の資産		
投資有価証券	13,196	11,731
退職給付に係る資産	—	638
その他	843	775
投資その他の資産合計	14,039	13,145
固定資産合計	171,225	168,226
資産合計	304,129	301,030

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,485	31,350
短期借入金	10,969	8,316
1年内返済予定の長期借入金	9,263	10,258
未払金	8,685	6,918
未払法人税等	818	1,012
賞与引当金	1,572	2,404
その他	6,738	6,722
流動負債合計	68,534	66,983
固定負債		
長期借入金	19,648	19,733
退職給付に係る負債	489	1,162
役員株式給付引当金	459	469
その他	9,604	8,149
固定負債合計	30,201	29,514
負債合計	98,735	96,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,622	23,622
利益剰余金	122,069	124,449
自己株式	△1,535	△1,499
株主資本合計	148,812	151,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,350	2,353
為替換算調整勘定	38,801	36,695
退職給付に係る調整累計額	702	616
その他の包括利益累計額合計	42,854	39,665
非支配株主持分	13,726	13,637
純資産合計	205,393	204,531
負債純資産合計	304,129	301,030



## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	165,237	167,395
売上原価	150,713	153,427
売上総利益	14,523	13,967
販売費及び一般管理費	8,239	8,611
営業利益	6,284	5,356
営業外収益		
受取利息	441	394
受取配当金	76	142
為替差益	1,353	—
持分法による投資利益	59	528
作業くず売却益	111	117
その他	296	178
営業外収益合計	2,339	1,361
営業外費用		
支払利息	590	369
為替差損	—	811
その他	30	37
営業外費用合計	620	1,218
経常利益	8,003	5,499
特別利益		
固定資産売却益	27	30
特別利益合計	27	30
特別損失		
固定資産売却損	5	4
固定資産除却損	—	327
早期割増退職金	—	256
事業整理損	174	—
特別損失合計	179	587
税金等調整前中間純利益	7,851	4,941
法人税等	1,877	1,034
中間純利益	5,974	3,907
非支配株主に帰属する中間純利益	27	7
親会社株主に帰属する中間純利益	5,946	3,899

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	5,974	3,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,379	△997
繰延ヘッジ損益	△31	—
為替換算調整勘定	11,003	△1,669
退職給付に係る調整額	△5	△85
持分法適用会社に対する持分相当額	564	△324
その他の包括利益合計	12,910	△3,077
中間包括利益	18,884	830
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	17,914	710
非支配株主に係る中間包括利益	969	119

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	7,851	4,941
減価償却費	9,675	9,782
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△15	△150
賞与引当金の増減額(△は減少)	666	831
受取利息及び受取配当金	△517	△536
支払利息	590	369
持分法による投資損益(△は益)	△59	△528
固定資産除売却損益(△は益)	△22	301
早期割増退職金	—	256
事業整理損	174	—
売上債権の増減額(△は増加)	4,556	484
棚卸資産の増減額(△は増加)	△169	△4,359
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,316	2,037
未収又は未払消費税等の増減額(△は減少)	△74	398
前受金の増減額(△は減少)	△1,031	134
未払金の増減額(△は減少)	122	△929
その他	△461	△656
小計	19,967	12,377
利息及び配当金の受取額	898	702
利息の支払額	△590	△363
早期割増退職金の支払額	—	△256
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,389	△1,828
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,886	10,632
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△7,017	△6,005
有形固定資産の取得による支出	△10,515	△11,600
有形固定資産の売却による収入	29	35
無形固定資産の取得による支出	△84	△190
投資有価証券の取得による支出	△43	△74
その他	△34	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,665	△17,839
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,459	△2,410
長期借入れによる収入	—	6,598
長期借入金の返済による支出	△5,228	△5,254
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△142	△52
配当金の支払額	△1,258	△1,518
非支配株主への配当金の支払額	△178	△208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,267	△2,846
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,936	241
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,110	△9,812
現金及び現金同等物の期首残高	40,248	32,846
現金及び現金同等物の中間期末残高	32,137	23,033

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	23,736	56,914	17,552	23,253	34,962	8,818	165,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,235	258	191	12	184	—	4,881
計	27,971	57,173	17,743	23,266	35,146	8,818	170,119
セグメント利益	1,317	1,132	1,634	1,124	186	828	6,223

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,223
セグメント間取引消去等	60
中間連結損益計算書の営業利益	6,284

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	30,309	62,689	18,261	19,666	27,918	8,550	167,395
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,408	275	161	12	113	—	3,971
計	33,718	62,964	18,422	19,679	28,031	8,550	171,367
セグメント利益又は損失(△)	2,322	1,267	1,097	539	△372	406	5,260

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,260
セグメント間取引消去等	95
中間連結損益計算書の営業利益	5,356

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。